

令和元年度宮城県介護職員合同入職式の開催について ～介護の魅力発信！～

宮城県介護人材確保協議会では、県内の介護施設に就職し、初めて介護に従事する職員を対象とした合同入職式を開催します。この合同入職式は、平成28年度から実施しており、今回で4回目の開催となります。

また、式典に引き続き、新入職員交流会を開催しますので、お知らせいたします。

記

1 日時 令和元年5月23日(木) 午後1時30分から午後3時30分

2 場所 県庁行政庁舎2階 講堂

3 主催 宮城県介護人材確保協議会

4 出席者(予定)

入職者・・・・・・172名

○平成31年1月以降に県内の介護施設に就職した介護職員等

内訳：特別養護老人ホーム(特養) 111名、介護老人保健施設(老健) 34名、
通所介護事業所(デイサービス) 14名、認知症グループホーム 7名等

最年長・・・・・・61歳 平均年齢 21.7歳

来賓・・・・・・2名

・村井嘉浩 宮城県知事
・只野九九 宮城県議会副議長

5 概要

人材確保が困難な高齢者福祉の現場に新たに入職された方々に、介護職のイメージアップと離職防止を図り、仕事に対する意識やモチベーションを高めてもらうため、宮城県知事から激励のメッセージを送るとともに、施設・事業所を超えた同期の仲間との交流を図るもの。

6 内容

(1) 式典(25分程度：午後1時30分～午後1時55分) 【会場：県庁行政庁舎2階講堂】

イ 主催者あいさつ 宮城県介護人材確保協議会長(東北福祉大教授 高橋 誠一)

ロ 激励の言葉 宮城県知事

ハ 祝辞 宮城県議会副議長

ニ 歓迎の言葉 先輩職員代表

ホ 誓いの言葉 新入職員代表

ヘ メッセージカード交付 宮城県知事から新入職員代表へ交付

(2) 写真撮影(15分程度：午後1時55分～午後2時10分) 【会場：県庁行政庁舎2階講堂】

グループごとに記念写真を撮影し、後日全員に配布。

(3) 交流会・名刺交換会(70分程度：午後2時20分～午後3時30分) 【会場：県庁行政庁舎2階講堂】

参加者同士で名刺交換及び歓談を実施。

参考

1 宮城県介護人材確保協議会について

平成26年6月に、県内の行政・介護関係団体を中心に設立し、現在は18団体で構成している介護人材の確保・養成・定着を目的とした協議会。

宮城県地域包括ケア推進協議会の介護人材確保専門委員会の位置付けを兼ねる。

具体的な取組は、下記の3つの部会において検討の上、実施している。

【部会での主な取組内容】

① 情報提供・啓発部会

- ・介護の魅力向上の取組（映像ツール、パンフレット作成、職場体験、メディアを利用した周知等）
- ・イベントの実施（介護の日イベント及び今回の合同入職式の開催）など

② 人材確保・定着部会

- ・県内各地での研修実施（新人職員育成支援、中堅職員キャリア育成、施設管理者を対象とした研修等）
- ・合同入職式の開催（再掲）

③ 職場環境改善部会

- ・介護事業所の人材確保・定着の取組に対する認証制度「介護人材を育む取組宣言認証制度」の検討・実施など

構成団体（18団体）

公益財団法人介護労働安定センター宮城支部、仙台市老人福祉施設協議会、東北福祉大学、一般社団法人宮城県介護福祉士会、宮城県介護福祉士養成施設協会、公益社団法人宮城県看護協会、宮城県市長会、社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、一般社団法人宮城県社会福祉士会、宮城県生活協同組合連合会、宮城県町村会、特定非営利活動法人宮城県認知症グループホーム協議会、宮城県老人福祉施設協議会、宮城県老人保健施設連絡協議会、みやぎ小規模多機能型居宅介護連絡会、宮城労働局（以上 50音順）
宮城県、宮城県教育委員会

2 本県の介護人材不足の状況

○県における介護職員数は30,931人（平成28年時点）。

○令和7年（2025年）には39,635人の介護職員が必要と推計され、介護職員の必要数（需給ギャップ）は、4,755人と見込まれることから、将来も見据えた介護人材の確保対策が重要である。

平成28年の 介護職員数		平成30年	令和元年	令和2年	令和7年
	需要（推計）数(A)	33,348人	34,548人	35,865人	39,635人
30,931人 (介護サービス情報公表 システムによる)	供給（推計）数(B)	31,837人	32,425人	32,955人	34,880人
	差((A)-(B))	1,511人	2,123人	2,910人	4,755人

資料：厚生労働省の介護人材需給推計ワークシートによる宮城県における推計値